

5. 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 「ゲノム編集技術を用いた農水産物の画期的育種改良」のうち 「生産者ニーズ高い形質を有するマグロ創生」

山田敏之・吉川壮太・門村和志・中塚直征

本プロジェクトは、平成26年度から国立研究開発法人水産研究・教育機構西海区水産研究所を中核機関として、広島大学、愛媛大学、長崎大学、近畿大学、長崎県が参画し、ゲノム編集技術を用いてクロマグロの育種に取り組み生産者ニーズの高い形質を有するクロマグロを作出することを目的としている。

当水産試験場では、ゲノム編集をおこなったクロマグロの形質評価を実施する上で必要な小規模水槽での飼育技術の開発を担当している。平成28年度は、500L水槽および200L水槽を用い、沈降死対策として3日齢から15日齢までの24時間照明飼育の有効性を検討した。その結果、従来法の夜間強通気法と同様に24時間照明法の有効性が確認できた。

(担当：山田)